

令和 年度 自立活動の指導 手順シート (例)

(支援室) 【 】年 名前【 ○○○○ ○○○ 】

実 態 把 握	障がいの状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習環境等について情報収集						実態把握
	収集した情報から障がいによる学習上・生活上の困難、またその背景にある要因を整理する						
	【学習上の困難】 ・ 語彙は豊富だが、その正しい使い方、表現の仕方がちぐはぐになることがある。 ・ 長文の読み取りが苦手。			【背景にある要因】 ・ 自閉症スペクトラムの傾向があり、独特な感性で表現する。 ・ 両親とも感情を言葉で表すことが苦手。 ・ 語彙が豊富なため、何でも分かっている、知っていると思われるがち。 ・ 大人の都合で、生活リズムが崩れている。			
	【生活上の困難】 ・ 支援室の友達の中ではお互いに理解しているので成り立つが、交流学級の中では相手に意味が伝わらず、話の輪の中に入れないことがある。						
						6区分に整理	
健康の保持		心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション	
・体調は安定しているが、朝、居眠りすることがある。		・気になることがあると、不安定になり、イライラする。	・大人とのかかわりを好む。	・時間割やスケジュールにこだわり、変更にも敏感。	・体を動かすことは好きだが、ボール投げなど、ものを使った運動は苦手。	・一方通行になりやすい。 ・相手の話を最後まで聞かない。	

指導目標	いくつかの指導目標の中で、優先する目標を焦点化する						指導目標の設定
	長期目標	○ 自分の気持ちを言葉で表現し、相手に伝えることができる。(※1年後の姿)					
	短期目標	○ 気持ちを表現する言葉を知る。(※前期又は1学期後の姿)					

項 目 の 選 定	指導目標を達成するために必要な項目を選定する						項目の選定
	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション	
	1) 生活のリズムや生活習慣の形成	1) 情緒の安定	1) 他者とのかかわりの基礎	1) 保有する感覚の活用	1) 姿勢と運動・動作の基本的技能	1) コミュニケーションの基礎的能力	
	2) 病気の状態の理解と生活管理	2) 状況の理解と変化への対応	2) 他者の意図や感情の理解	2) 感覚や認知の特性についての理解と対応	2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	2) 言語の受容と表出	
	3) 身体各部の状態の理解と養護	3) 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	3) 自己の理解と行動の調整	3) 感覚の補助及び代行手段の活用	3) 日常生活に必要な基本動作	3) 言語の形成と活用	
	4) 障がいの特性の理解と生活環境の調整		4) 集団への参加の基礎	4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動	4) 身体の移動能力	4) コミュニケーション手段の選択と活用	
5) 健康状態の維持・改善			5) 認知や行動の手がかりとなる概念の形成	5) 作業に必要な動作と円滑な遂行	5) 状況に応じたコミュニケーション		

具体的な指導内容	選定された項目を関連付けて具体的な指導内容を設定する						関連性を線引き
	・ 正しい言葉の使い方や、場に合った言動について、絵カードやロールプレイングを用いた指導を行う。		・ 集団の中に入る活動の前後に個別の時間を設け、予想される集団の場面での言動について考えたり、自分の言動についての振り返りの時間を設ける。		・ 生活リズムを整え、睡眠時間をしっかり確保し、情緒の安定を図る。		
							具体的な指導内容設定
指導場面	○自立活動の時間 ○国語		○自立活動の時間 ○生活単元学習 ○体育、音楽		○自立活動の時間 ○日常生活の指導		